

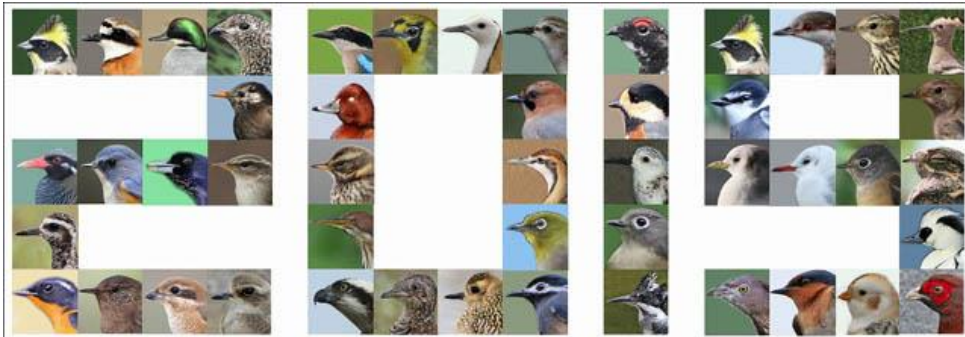


© sayaka

野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



あけましておめでとうございます
今年も 鳥たちとの良い出会いがありますように



「2019ロゴ作成」橋本泰博さん 「オシドリ、クロツラ&ヘラサギ撮影」ハネひとみさん

野鳥さが221号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 支部設立25周年記念行事のご案内-----3ページ
- ハス田の防鳥ネットについて-----4ページ
- 支部からのお知らせ-----4ページ
- 各地の観察会報告-----6ページ
- 皆さんからのおたより-----12ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報 -----13ページ
- 近隣地区の観察会情報-----14ページ
- 観察会会場までの案内-----15ページ
- 観察会などのお知らせ（2019年2月～4月上旬）-----16ページ



役員会報告

(報告:青柳良子)

【日 時】2018年12月23日 & 2019年1月20日

【出席者】(12/23) 宮原明幸、青柳良子、馬場清、田中丸雅雄、橋本泰博、加藤芳隆、川原直嗣、山崎章弘、中島由美子、蒲原留美、島田洋 (1/20) 宮原明幸、島田洋、中原正義、川原直嗣、橋本泰博、中島由美子、山崎章弘、馬場順一、馬場清、江口富美子、青柳良子

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 25周年記念事業について

- ・25周年記念として「クロツラヘラサギ」のピンバッジを作る。
会員・家族会員へは記念品としてプレゼントする。
- ・日程等詳しいことは3ページをご覧ください。

(2) カラスカウントについて

- ・市役所からの要請で2月10日に3回目の調査を行う。

(3) ホームページについて

- ・「訪問者」も多く好評。ほぼ毎日のように更新している。手間は大変なので「ホームページ管理」の手当として年間5万円をお支払いする。
- ・「スマホの扱い方」の講習会をする。

(4) 支部報の編集方法について

- ・観察会参加者名などを支部報に掲載すべきかどうか。
- ・他支部の支部報を点検してみた。掲載する支部もあればしないところもある。詳しくは「支部からのおしらせ」をご覧ください。

(5) 東よか干潟拠点施設について

- ・佐賀市は、「東よか干潟拠点施設」の設置を予定している。
2020年オープン予定。
- ・佐賀県支部としてはいかに関わっていくか、今後も検討していく。

(6) ツル類飛来状況調査について

- ・(公財)日本野鳥の会からツル飛来状況調査の依頼が来ている。
- ・今年10月から来年2月にかけてのツル飛来状況の調査依頼。
- ・東与賀干潟ではナベツルが最近しばしば目撃されている。

(7) その他、今後の観察会等について協議した。





支部設立25周年記念行事のご案内

日本野鳥の会佐賀県支部は2019年6月19日で設立25周年をむかえます。25周年の節目を記念して下記の要領で式典を催したく、案内申し上げます。日頃ご多忙で、なかなか探鳥会等に出て来る機会のない会員の方へも是非当式典へ参加頂き懇親を深めて頂ければと切望致します。万障繰り合わせの上、何卒ご参加ください。

25周年記念式典

期 日：2019年4月20日（土曜日）

会 場：ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア
佐賀市栄町3丁目7-8 電話 0952-37-0888

受 付：13時～

講演会：14時～16時30分 支部野鳥座公演&
財団主席研究員・安西英明氏による講演

祝賀会：17時～19時 懇親会

※佐賀駅より送迎バスを出します。佐賀駅北口 12時45分 迎え
マリトピア 19時30分 出発

会 費：祝賀会参加費 3,000円（中学生以下 無料）



記念探鳥会

期 日：4月21日（日曜日）

時 間：8時～

場 所：東よか干潟（大授搦） 干潟展望台前駐車場集合

見どころ：繁殖地に向け、渡り始めたシギ・チドリを観察します。

後日、出欠確認の葉書を送ります。期日までに、ご回答お願い致します。

武雄・宇宙科学館周辺の野鳥観察会へのお誘い

【日 時】2月3日（日） 9時集合 ～ 11時終了予定。

【受付場所】宇宙科学館の裏側の駐車場（ペンション・ピクニック横の広場）

【コ ー ス】駐車場～湖・遊歩道～科学館奥へ～駐車場

【参 加 費】保険料（資料代含む）¥100円

- ・双眼鏡の貸し出しをします、ご利用下さい。
- ・手袋、マフラーなど防寒をお願いします。（風邪対策もね！）
- ・お帰りは武雄温泉の殿様の湯へ、楼門の辰野金吾の干支の見学は？
又は、国・重要伝建地区・塩田津への見学は？

（馬場清さんがガイドしますよ！ 090-1084-3852）





ハス田の防鳥ネットについて

(事務局:中村さやか)

佐賀新聞元旦号に「白石町、レンコン栽培とカモ「共生」畑の上に防鳥ネット…食害、死骸激減」という記事が掲載され、ご覧になった方も多いのではないでしょうか？新年早々、佐賀県支部にとって明るいニュースとなりました。

防鳥ネットを蓮田のぎりぎり下にかけることは、絶大な効果があります。横から野鳥が入り込むことがなくなりますのでレンコンの食害も防げますし、野鳥が網に引っ掛かって死ぬリスクも減らすことができます。

私は冬になるとかなりの頻度で現地に見回りに行きます。去年は少し回ると、あちこちでネットやテグスに引っ掛かって死んでいる野鳥たちの姿がありましたが、今季は死ぬ野鳥が激減しています。ただ、羅網被害はゼロにはなっておりません。

いくら低くかけていても引っかかって死ぬ鳥はいるようです。また、網ではなくテグスをしてある蓮田はまだあるため、こちらの方にもハシビロガモ、マガモが引っかかっていました。テグスは透明で全く見えないので野鳥にとってはこちらが脅威です。3年前のクロツラヘラサギの事故の時もテグスにかかって死にました。防鳥ネットを低くかけることにより、食害がなくなることが農家に浸透すれば、テグスからネットの方へ変えてくれるのではないかと思います。今後はテグスの方のあり方を、関係機関に働きかけていく必要があるのではないかと思います。



※ 佐賀新聞に掲載された記事はインターネット（佐賀新聞 LIVE）でご覧いただけます。

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/320869>



支部からのお知らせ

◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

前号（220号）でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを込めてご紹介いたします。

12月入会	東島 清司さん（佐賀市東与賀町）
	斎藤 真貴子さん（佐賀市大財北町）
1月入会	鳥山 秀文さん（長崎県長崎市）
	鳥山 勝子さん（同上）
	原口 和貴さん（佐賀市金立町）
	原口 奏真さん（同上）



以上 6 名の方が 1 月下旬現在でのご入会が確認されました。

佐賀県支部の会員は現在 221 名です。

野鳥の会会員の皆様！

皆様の周りに、花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいますか？ 観察会などにお誘いしてみてください。

野鳥の会は「いつでも入会 OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。

◆支部報の編集方法の変更について

近年「個人情報云々」の問題がありますので、支部報もできるだけ個人の名前は載せない方がいいのではないか・・・ということで次号（222 号）から以下のように変わります。

1. 支部長の氏名・住所・電話番号・メールアドレス以外は掲載しないようにする。
（佐賀県支部事務局・支部報編集者・支部会計・物品販売 等、役職のみ案内する）
※名前を出して構わない人は、氏名のみ。住所・電話番号は載せない。
2. 探鳥会の報告
リーダー・参加者の名前は出さない。
（リーダー 2 名、参加者 25 名のように記載する。）
3. 探鳥会案内・・・連絡先は、支部長携帯に。
4. 個人の投稿記事は、ハンドルネームで掲載する。（本人の許可があれば本名で記載）
5. その他
 - ・個人の投稿記事は別枠コーナー（『会員広場』『会員のコーナー』等）を設けて掲載
 - ・次号発行日の予告記載
 - ・配布方法を記載
 - ・記事や写真の提供依頼等を、事務局名（『佐賀県支部事務局』と書く）で公募する。
 - ・「より良い支部報にするために皆様の感想、ご意見をお寄せください。」と書く。
 - ・物販の案内を出すときは商品名、値段、支払方法、引き渡し方法を明確に記載する。





各地の観察会報告



■東よか干潟（大授揚）観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 平成 30 年 12 月 9 日

【参加者】宮原明幸、川原直嗣、西川正記、青柳良子、高山昭彦、田川亨、佐藤幸則、下村小枝子、宮地毅吏、宮地美紀、原口和貴、原口あゆみ、原口奏真、原口健人、松尾政師、福田真央、秀島泉、水田稔、坂田修治、吉澤進、上野武美、中島修、中島由美子、石橋尚征、石橋由衣、石橋左綾香、辻俊郎、久富文江、深村徹、野上駿、津山悦子、島田洋、宮原史枝、大川幸子、古川昌高、山下哲郎、田辺憲子、渡辺雅子、福田康典、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】クロツラヘラサギ、ツクシガモ、マガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ミサゴ、ナベヅル、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、エリマキシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ズグロカモメ、クロハラアジサシ（24 種類）

【案内役より】

今冬初の寒波が来る。朝から寒い中、40 名が集まる。初めての参加者が多い。堤防を下りると、水際でエリマキシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、コアオアシシギが餌を探す。干潟上にはズグロカモメが休息中、水際ではツクシガモが採餌中。寒波のためツクシガモは 800 羽を超える。

西に移動し、オオハシシギ、ツルシギ、トウネンを観察。潮高が低いため干潟が残り、鳥たちは飛び立たず、最後までゆっくり観察することができました。

②【日 時】 平成 31 年 1 月 6 日

【参加者】中村さやか、中島修、中島由美子、高山昭彦、坂田幸夫、川原直嗣、谷口友啓、谷口深雪、中島直、橋本泰博、竹田澄子、青柳隆、青柳良子、坂田修治、江口勝高、宮原明幸、下村小枝子、吉澤進、新田直哉、島田洋、福田康典、水田稔、永島博、山下哲郎、川上武彦、八木ひとみ、津山悦子、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ミサゴ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、ナベヅル、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、エリマキシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、ダイシャクシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ズグロカモメ、クロハラアジサシ、キジバト、ヒバリ、ジョウビタキ、メジロ、スズメ

【案内役より】（42 種類）

今年初の東よか干潟の観察会は、初心者のための観察会として行われ、初心者 5 名を含む 34 名が集まった。開始前に干潟上空をハヤブサが飛び、シギ・チドリは

一斉に飛び立つ。干潟上にはツクシガモ・ズグロカモメが休息中で、白い鳥が目立つ。今日のテーマは「クロツラヘラサギとヘラサギを識別しよう」くちばしをたたみ休息中でなかなか顔を出さない。しばらくして羽繕いして、やっと顔を出す。鳥合わせでは越冬中のシギ・チドリ 16 種、カモ 6 種、その他 21 種、合計 43 種を確認する。風もなく好天に恵まれた観察会でした。



観察会の様子とナベヅル
(写真提供：加藤芳隆さん)

■巨勢川調整池観察会報告（佐賀市）

【日 時】 平成 30 年 12 月 16 日

【参加者】高山英一、川原直嗣、水田稔、吉澤進、橋本泰博、永島博、中原正義、青柳良子、宮原明幸、内田英丸、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハイタカ、オオバン、タゲリ、ドバト、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、ツグミ、ホオジロ、オオジュリン、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ミヤマガラス（25 種類）

【案内役より】

前日までは好天気。ふたご座流星群を観察したという人も何人かおられました。ところが観察会の当日に限って雨でした。おまけに寒い。晴れていたら 2 時間かけて池を一周しますが、今回は池の西の端にとどまったままでの観察となりました。池には水鳥の大群。ざっと見て 2000 羽以上。カモ類が主です。マガモやオナガガモが大半を占めます。さらにトモエガモが 100 羽はいたでしょう。そのかわり、カルガモがない。カルガモが見つからないなんてこれまで無かった事です。不思議でなりません。猛禽は 2~3 羽。ハイタカらしいです。冷たい雨の中での観察会でした。1 時間 10 分で切り上げることにしました。巨勢川調整池は野鳥保護から見てもきわめて大事な場所だと思います。今後も観察会を開催していきます。

■森林公園観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 平成 30 年 12 月 23 日

【参加者】長岡保、江口勝高、宮原明幸、川原直嗣、青柳良子、坂田修治、吉澤進、深村徹、水田稔、高山昭彦、永島博、内藤雄輔、小柳美穂、中島修、中島由美子、橋本泰博、馬場清、青柳隆、津山悦子、蒲原留美、内田英丸、大渡久嗣（土木事務所）、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミサゴ、オオバン、タゲリ、タシギ、キジバト、ドバト、カワセミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、シメ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（33種類）

【案内役より】

どんよりとした曇り空。12月にしては暖かい。9時過ぎにぼちぼちと観察を開始しました。ハシボソガラスが木々の下の草地に群れています。地面にさかんにくちばしを突っ込んでいます。地面を調べてみると椎の実がたくさん落ちてました。これを食べてたのかわかるか？ムクドリ、ツグミ、アトリの群れなどを観察しつつ、公園を歩きました。皆が口々に言います。「鳥がおらんねー」。野鳥の種類も数も大きく減っているのは間違いありません。嘉瀬川にはカモの群れ。トモエガモが結構多い。今年はなぜかトモエガモが多い。駐車場に戻り、「鳥合わせ」をしてみると33種類。種類数はそこそこ多いが、とにかく個体数は少ないと感じました。この先どう変化していくのか、心配です。

②【日時】 平成31年1月20日

【参加者】田辺憲子、江口勝高、馬場順一、吉澤進、水田稔、長岡保、中山聡、中山優子、山下哲郎、宮原明幸、青柳良子、福田康典、永島博、上野武美、川原直嗣、中島由美子、古賀郁香、今泉知華、久富文江、徳淵義実、丹羽昭一、中原正義、口富美子、馬場清、野口博、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミサゴ、オオバン、タゲリ、キジバト、ドバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、メジロ、ホオジロ、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】（28種類）

朝方は、小雨。少々雨が降っても開催するのが日本野鳥の会佐賀県支部です。公園内の休憩所に集まり、開会のあいさつ。森林公園の橋本園長からも挨拶がありました。午前9時過ぎ観察開始。・・・「いない！」。鳥がいない。歩いているうちによろやくヒヨドリやムクドリがちらほらと姿を見せました。シジュウカラもいない。カワセミもいない。嘉瀬川の堤防に上がります。北西からの寒風が吹きます。川面にはカモの群れ。ヒドリガモ、マガモ、オナガガモなどを観察しました。その観察中に突然の銃声。4発か5発。発砲は対岸の堤防の向こう側です。カモの群れが一斉にとびたちます。さらに銃声です。嘉瀬川で銃声をきくのは初めて。銃撃は禁止されているはず。宮原さんの指示で青柳さんが公園事務所へ通報に行きます。狩猟禁止ならあの銃声は犯罪です。観察会参加者は嘉瀬川の堤防から野球場の方に下りました。休憩所に戻り鳥合わせ。28種類でした。銃声については、森林公園から警察へ通報。すぐに警察が来て、宮原支部長が状況を説明。さらに警察とともに現場を見て回ったそうです。残念ながら発砲した人物を確認することは出来ませんでした。



■朝日山観察会報告（鳥栖市）

【日 時】 平成31年1月2日

【参加者】宮原明幸、江口勝高、中島修、中島由美子、加藤芳隆、新田直哉、長岡保、長岡景子、松本薫、松本太一郎、水田稔、中原正義、古澤進、田辺憲子、山下哲生、永島博、宮崎浩二、古賀郁香、久富文江、山下哲生、上野武美、アウドリュース・サブーナス、男性2名（受付なし）、橋本泰博（案内役）

【観察された野鳥】アオジ、アオサギ、アトリ、イカル、ウグイス、エナガ、カイツブリ、カルガモ、カワセミ、カワラヒワ、キジバト、キセキレイ、クサシギ、クロジ、コガモ、コゲラ、シジュウカラ、ジョウビタキ、シメ、シロハラ、スズメ、セグロセキレイ、ソウシチョウ、ツグミ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ミサゴ、ミヤマホオジロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、リュウキュウサンショウクイ（35種類）

【案内役より】

平成最後の朝日山観察会だった。正月早々のおめでたい観察会の担当になって早8年。いつも気になるのは参加者の数。誰もが正月気分で浮かれている時に、寒気を突いて集まってくれる猛者は一体どれくらい・・・？しかし、心配は杞憂だった。嬉しいことに、駐車場に入りきれないくらいの参加者。25名もの数だった。

この駐車場はたくさんの鳥が顔を見せる所。

この日も、観察会全体の半分にもなろうかという鳥が出てきた。正月気分が浮かれ出た(?)ハイタカまで、我々を見物にやって来た。

残念だったのは、ヒレンジャクの姿を見られなかったこと。近くのエノキにヤドリギが着き、その緑の丸い実を目当てにやって来ていたのだが・・・

さて、頂上に向かって歩き出すと、道端のツツジの植え込みに、いつものようにソウシチョウの群れ。道路の上にもやって来て、餌を探している様子。

いわゆるかご脱け鳥であり、野鳥と言えるかどうかは別として、姿形は可愛いのでみんなで楽しんだ。この鳥は子供の頃には見たことがなかったけれど、今や自宅の庭にまでもやって来るようになり、今後どれくらい勢力を伸ばすのやら・・・

他の鳥への影響はどうだろう？この観察会でルリビタキとカワセミの青、それにウソ(亜種アカウソ)の赤に期待していた。例年ルリビタキに会えるポイントで、目をこらし耳を澄ましたけれど、今年は駄目だった。年末の事前調査で声を聞いたので期待していたのだけれど・・・また、桜の芽も膨らんでいる様子だったのでずっと上を向いて歩いたけれど、ウソも見つけられなかった。

カワセミ期待の川沿いを歩いていると、今年は、カルガモとコガモがやって来ていたし、愛想良しのジョウビタキもしっかり見ることができた。

更に探していると、コンクリの擁壁でくつろいでいるカワセミを発見。スコープでじっくり観察することができた。また、少しずつ接近しても気にもかけない様子だったので、至近距離で嘴の色まで判別することができた。カワセミさまさまだった。



(写真提供：橋本泰博さん)

元の駐車場に戻って鳥合わせをしてみると、なんと過去最多タイの35種。
若い鋭い目を持つ某君たちのおかげかも知れない。 見る目を鍛えなくては！
新年早々だったけれど、天候も良好で和気藹々とした観察会を行うことができた。
また、同好の士と、このような時間を過ごすのは気持ちの良いものだと感じた。
参加者の皆さん、ありがとうございました。
今年も、たくさんの良き出会いがある事を祈念します。

■松浦河畔公園観察会報告（唐津市）

【日 時】 平成31年1月3日

【参加者】藤田和歌子、片山亮、山下哲郎、小坂巧、加藤芳隆、長岡保、水田稔、馬場清、中島由美子、中島修、永島博、川原直嗣、田辺憲子、久富文江、他二名、佐久間仁（案内役）

【観察された野鳥】オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、ドバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、イソシギ、ウミネコ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、モズ、カササギ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ（39種類）

【案内役より】

強い寒気を心配しましたが、天候に恵まれた観察会でした。ただ、最近気になっている点がいくつかあります。

- ・鳥種数や種類ごとの羽数も減少傾向。
- ・低木と茂みの伐採が進み、地面近くで活動する鳥が激減。
- ・川底の環境が変わったためか、ホシハジロは健在なものの、キンクロハジロやスズガモが皆無状態。
- ・カワウやオオバンのほか、カルガモの激増ぶりが目立つ。

■石井樋公園観察会報告（佐賀市）

【日 時】 平成31年1月13日

【参加者】馬場順一、友岡周一、水田稔、中村さやか、田辺憲子、原口和貴、原口奏真、田中丸雅雄、坂田幸夫、高山昭彦、秀島泉、秀島サカ枝、石丸基則、吉澤進、島田洋、高木義彦、高木宏子、佛坂安恵、佛坂新一、川原直嗣、斎藤真貴子、斎藤滋、深村徹、野口博、福田康典、永島博、古賀郁香、長岡保、江口富美子、青柳隆、津山悦子、朝田清子、宮崎明美、高山英一、青柳良子（案内役）

他に「水ものがたり館」の呼びかけで、5名参加

【観察された野鳥】カイツブリ、カワウ、マガモ、コガモ、オナガガモ、オオバン、イカルチドリ、クサシギ、キジバト、ヤマセミ、カワセミ（声）、コゲラ（声）、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス（声）、シジュウカラ、ホオジロ、オオジュリン（声）、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（27種類）



【案内役より】

「水ものがたり館」主催の探鳥会として開催されました。荒牧館長の挨拶のあと、野鳥の会から中村事務局長の挨拶と「ハス田の防鳥ネット」に関する話と茨城野鳥の会への署名のお願いをしました。

「出水ツルツアー」と重なったため、参加者が少ないかと心配していましたが、総勢 40 名ということで、張り合いのある観察会になりました。時折小雨がぱらつきましたが、クスの大木で凌ぎながら観察を続けていました。小学 1 年生の原口奏真くんが「チドリがいる！」と言いました。言われてよくよく目を凝らしてみたら、なんとイカルチドリでした。石の模様によく似ていて見つけにくいのに・・・すごい！です。イカルチドリに見惚れていると「ヤマセミ！」との声！観察会での初記録です。「象の鼻」の西側の広い水面には、これもなんと観察会初記録のオナガガモがた〜くさんいるではありませんか！

干潟でシギ・チの数を数えている田中丸さんに「何羽ぐらいですかね？」と尋ねてみました。「500 ぐらいでしょう」とのことでした。圧巻でした。水ものがたり館主催の時は「工作」をすることになっているので、11 時に切り上げて鳥合わせをし、観察会は終了です。工作は「パタパタ鳥」カモで作ったのですがもう少し大きな鳥で翼が長いものの方がよかった・・・とか、ストローの種類が・・・とか、反省材料が沢山ありました。

ご協力いただいた皆さん！
ありがとうございました。



(写真提供：馬場順一さん)

■新年会報告

【日 時】 平成 31 年 1 月 19 日

【場所】 さかなや道場佐賀南店

【参加者】 吉澤進、八木ひとみ、宮原明幸、福田康典、久富文江、馬場順一、馬場清、服部二郎、橋本泰博、永島博、中原正義、中島由美子、古賀郁香、木根賢吾、加藤芳隆、江口富美子、青柳良子（幹事）

【幹事より】

昨年までは 2 月初めに行いでしたが、今年は早い時期でした。まだ「新年会」が盛んな(?) 時期でしたので、会場がうまくとれず「5 席づつ 4 列、真ん中は仕切りをはさんで背中合わせ」となってしまう、全体で話すのは難しい状態でした。

それでも半分ずつでの会話ははずみ、2 時間はあっという間でした。風邪も流行っていたため、参加予定の方が 4 名もキャンセルになり、残念でした。

また、新年会が重なってしまったため参加できなかった方もいました。

来年に向けては、開催時期をもっと遅らせるとか・・・一考したいと思います。



(写真提供：馬場清さん)



皆さんからのおたより



●「この時期の鳥たち 2019 その1」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

前回の「2018 その4」にはマガン幼鳥、トモエガモ、オシドリを報告しましたが、その後はさっぱりで、2017年11月にはベニマシコやルリビタキが観察された「水郷県民の森」ではツグミすら観察できませんでした。やはり暖冬のせいかと思われます。ツグミは1/6にやっと地元で見ることが出来ました。そこで観察ポイントを「神之池」という鹿島臨海コンビナートに隣接した所に移し観察しました。

ここは私が住んでいる神栖市にあり、毎年1月にあるガン・カモ調査では3年前にはミコアイサが80羽ぐらいカウントされました。昨年12月中旬には16羽観察しました。写真はエクリプス～冬羽換羽中～冬羽で、撮影日は11/30、12/13、12/27です。



ミコアイサ♂エクリプス



♂冬羽換羽中（手前は♀）



♂冬羽

●「東山代小学校・ツルの学習会」・・・馬場 清さん（嬉野市）

学習会は伊万里市長浜干拓地の飛来しているナベヅル、マナヅルに特化したツルについての勉強会です。はじめに支部会員の伊万里市内で見られる野鳥たちをパワーポイントで映像をみたり、鳴き声を聴きながらの説明がありました。

その後はツルについての10グループに分れ、①ツルはどんなルートで伊万里市にやって来るのか？ ②ツルが冬の間、ずっと暮らす為に何が必要でしょうか？ の質問シートについてのグループ討議をして、多数の意見を出し合って2～3のグループで発表しました。次回学習会も続きを開く予定です。参加者はM支部長、A副支部長、E会員、Y会員、Bモデル校担当者、財団自然保護室I氏、N氏、伊万里市K氏でした。





皆さんからの野鳥&生きもの情報



■丹羽 昭一さん (みやき町)・・・「窓辺でバードウォッチング (自宅から)」



シロハラ (18/11/28)



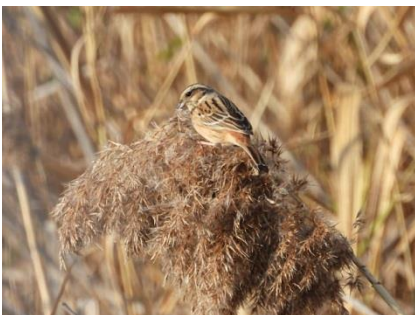
アオジ (18/12/5)



ミヤマホオジロ (18/12/28)

■八木 ひとみさん (佐賀市)

- 1月2日 【東よか干潟周辺】ダイゼン、オオジュリン、モズ、クロツラヘラサギ&ヘラサギ*23羽 (クチバシの色が違います、若鳥でしょうか。)
- 1月12日 【巨勢川調整池】マガモ、カルガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、コガモ、トモエガモ、カワウ、ダイサギ、オオジュリン、バン、モズ、カイツブリ
- 1月13日、14日【金立公園】ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、コガモ、ミヤマホジロ、ツグミ、シロハラ、ソウシチョウ、メジロ
- 1月14日 【大和町そよ風館】カワセミ、イソシギ、オシドリ、ノスリ (飛翔)
【嘉瀬川ダム付近】オシドリ、カワガラス、キセキレイ、カルガモ、ツグミ、アトリ、ヤマガラ
- 1月19日 【佐賀市水ものがたり館】ツグミ、ホオジロ、モズ、アオジ、ミサゴ、イソシギ、マガモ、オオバン、カイツブリ、ヤマセミ、シメ



オオジュリン



ゴカイ?を引っ張り出すダイゼン



シメ

■馬場 清さん (嬉野市)

- 1月12日 【塩田川】カワアイサ♀
ヒドリガモの中に1羽





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：2月3日(日)、3月3日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：玄洋高校北西の端道路

日時：2月5日(火)、3月5日(火) 10:00～ (定例探鳥会) **集合時間にご注意を！**

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：2月9日(土)、3月9日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：2月10日(日)、3月10日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：2月17日(日)、3月17日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：2月24日(日)、3月24日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般 200 円 高校生 100 円 中学生以下無料)

日時：2月3日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：小郡市・花立山 / 集合：9:00 小郡市干潟の城山公園駐車場

担当：森池勝利さん 携帯：090-1873-6007

日時：2月10日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：2月17日(日) 9:00～12:00 グリーンピア八女(企画探鳥会)

場所：八女市黒木町 / 集合：9:05 グリーンピア八女駐車場

担当：池長裕史さん TEL：090-1773-1896

日時：2月24日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

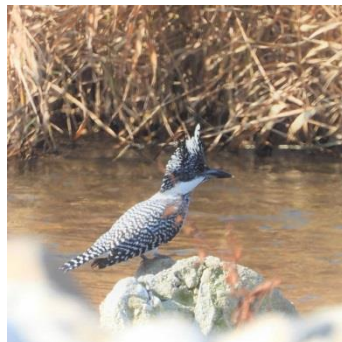
場所：大牟田市・延命公園 / 集合：9:00 大牟田市昭和町の延命公園・体育館西側広場

担当：中嶋秀利さん TEL：090-4480-9104

mini photo gallery (撮影：八木ひとみさん、馬場順一さん)



カモの楽園・巨勢川調整池



ヤマセミ ← 石井樋公園 → オオバン



～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観覧会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①2月3日 武雄市・宇宙科学館周辺



②2月10日 伊万里市・八谷棚



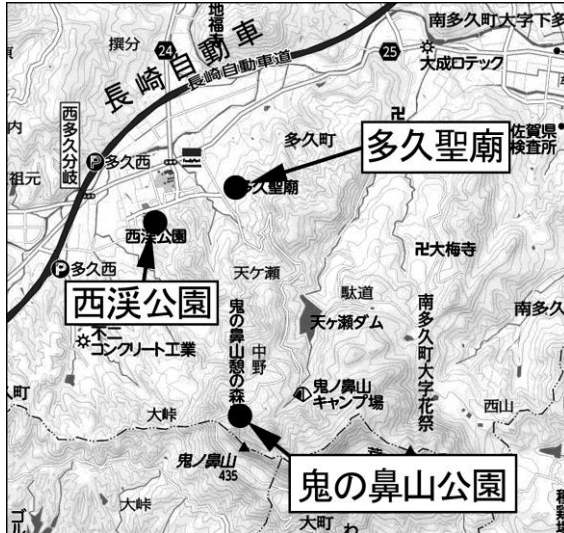
③2/24 ⑥3/24 佐賀市・東よか干潟



④3月3日 小城市・小城公園



⑤3月10日 多久市・鬼の鼻山公園



⑦4月7日 佐賀市・金立公園





観察会などのご案内 (2019年2月～4月上旬)

①2月3日(日)

宇宙科学館周辺観察会(武雄市)

[集合&場所] 09:00 宇宙科学館近くの武雄温泉保養村駐車場(ペンションピクニック隣り)
[担当] 坂田 紀子さん(武雄市) 090-5746-2783
馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852
[見どころ] 池のカモたち、野山の小鳥たちがお出迎えしてくれます。(マップコード 104349225*77)

②2月10日(日)

八谷嶽観察(伊万里市)

[時間&場所] 09:00 伊万里浄化センター前
[担当] 山崎 章弘さん(伊万里市) 090-3013-313
[見どころ] 川沿いのあし原で狩りをする「ハイロチュウヒ」を観察できればいいなあ!
(マップコード 458118165*74)

③2月24日(日) ⑥3月24日(日) 東よか干潟(大授嶽)観察会(佐賀市)

[時間&場所] (2/24)11:00 (3/24)10:00
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 絶滅危惧種のクロツラヘラサギやズグロカモメ。3月は春の渡り前、夏羽に替わりかけた干潟の鳥たちを観察します。(マップコード 87017593*22)

④3月3日(日)

小城公園観察会(小城市)

[集合] 09:00 小城公園駐車場
[担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
[見どころ] 梅の花を觀賞しながら渡りの時期を迎えつつある冬鳥たちをウォッチング。レンジャク類が見られるといいですね。(マップコード 87428207*44)

⑤3月10日(日)

鬼の鼻山公園観察会(多久市)

[時間&場所] 9:00
多久市の鬼の鼻山公園駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 展望台のある山頂までは歩いて15分程度、360°の展望が待っているそうです。ウォーキング&低山の鳥たちを楽しみましょう。
(マップコード 104567361*28)

⑦4月7日(日)

金立公園観察会(佐賀市)

[集合] 09:00 金立公園・成田山大財不動尊前
[担当] 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
[見どころ] 春に舞うシジュウカラやアオゲラを観察。
(マップコード 87592096*63)

※各観察会場の「マップコード」を掲載しました。「マップコード」とは、地図上の位置を簡単に特定できるコードナンバーです。マップコード対応カーナビに数字を入力するだけで、ピンポイントでその場所に行けます。加藤芳隆さんから情報をいただきました。

共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-4932-5740)
〒849-1315 鹿島市三河内2974-1
郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>